



平成25年度第2回定例記者会見開催のお知らせ

日時：平成25年 5月22日（水） 11:00～12:00

場所：豊橋技術科学大学事務局3F 大会議室

<記者会見項目予定>

- ①東海地区国立大学法人初：デザイナー高橋正実さんと顧問デザイナー契約を締結（別紙1参照）
- ②全国初の試み：下水処理場でトマトづくり ～大村秀章愛知県知事を迎えて「豊川バイオマスパーク」トマト収穫記念式を開催～（別紙2参照）
- ③JIA東北住宅大賞奨励賞受賞「白鷹の家」（別紙3参照）
- ④豊橋市花園町の空き店舗改修プロジェクト「花園ベース」（別紙4参照）
- ⑤本学編集「技術を創る－知の本流からのメッセージ－」出版記念シンポジウム：先進的研究者、先進的経営者・起業家を講師にパネル討論等（別紙5参照）
- ⑥次回の定例記者会見の開催について（別紙6参照）

<本件連絡先>

総務課広報係 山内・岡崎・小島

TEL:0532-44-6506 FAX:0532-44-6509



平成25年 5月15日

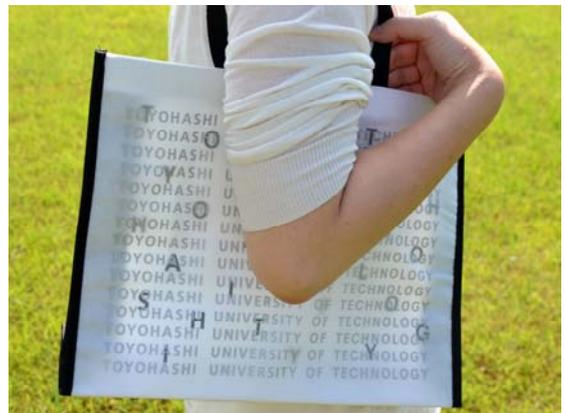
東海地区国立大学法人初

デザイナー高橋正実さんと顧問契約を締結【ご本人出席予定】

豊橋技術科学大学は東京スカイツリーのエレベーター内装デザインや、スガキヤ「ラーメンフォーク」のデザインで著名な、高橋正実さん(MASAMI DESIGN: マサミデザイン)と顧問デザイナー契約を締結し、日本のものづくりを応援する、高橋さんとのコラボレーションにより、「技術を究め、技術を創る」を使命とする本学の魅力を、より広くアピールしていきます。

<顧問契約を結ぶこととなった経緯>

学長補佐で情報・知能工学系中内茂樹教授が4年前に東京で開催したユニバーサルデザインに関するシンポジウムに高橋さんを講師として招いたことから豊橋技術科学大学と高橋さんとの関係が始まりました。その後、日本のものづくりを応援する高橋さんの協力を得て、「技術を究め、技術を創る」を使命とし技術者を創出する本学の魅力をよりアピールしていくことで両者の意見が一致しました。そのコラボレーション第1弾として、昨年(平成24年)には、高橋さんのデザインによるエコバッグを作成し、好評を得ました。



このコラボレーションを継続的に進め、本学の魅力をデザインの視点からあらためて見つめ直し、発信することで本学のさらなるブランディングを進めていくため、この度、豊橋技術科学大学と高橋正実さんの間で顧問デザイナーの契約を結ぶこととなりました。

<顧問契約で行うこと及びその効果>

- オープンキャンパスへ向けてのエコバッグ制作
- 東三河地域の企業とのノベルティグッズ制作
- 本学の魅力を高める為の、広報支援及びクリエイティブ面でのコンサルティング

主に上記3点に取組み、本学オリジナル、地元企業とコラボレーションしたノベルティグッズを作成し、各グッズを通じた本学プレゼンスの向上、本学デザインを体系的・統一感のあるものにする事で本学の持つイメージを学内外に浸透させ、本学プレゼンスの向上を図ることを目指しています。

高橋正実(たかはし まさみ)さんの紹介

<プロフィール>

クリエイティブディレクター・アートディレクター・デザイナー
(MASAMI DESIGN代表)

MASAMI DESIGN <http://www.masamidesign.co.jp/>

コンセプトワークを得意とするところから、グラフィック、パッケージ、プロダクト、空間、科学研究分野、ブランディング、コンサルティング、地域開発、執筆等多岐に渡り、分野を超えたスタイルで仕事をしています。



<主な実績>

【東京スカイツリーエレベーター基本コンセプト構築及び内装デザイン】



東京の新名所「東京スカイツリー」。その「天望デッキ」へ続くエレベーターの基本コンセプトの構築と内装デザインを手掛けた高橋さんは、多数のテレビやラジオ番組に出演されています。

【ラーメンフォーク】

名古屋のご当地ラーメンともいわれる、ラーメンチェーン店「スガキヤ」で愛用されている食器。アメリカのニューヨーク近代美術館(MoMA)のミュージアムショップで販売されており、人気商品の1つとなっています。



【成田国際空港第一旅客ターミナルビル中央ビル空間デザイン】

北ウイング側の30メートルの壁面、南ウイング側の30メートルの壁面に、金箔・銀箔が施された美しい金魚が描かれています。これらは成田国際空港内で最も巨大なデザイン・アートワークとして、日本の玄関口を華やかに彩っています。



本件に関する連絡先

担当者 総務課長 TEL:0532-44-6501

広報担当：総務課広報係 岡崎・小島 TEL:0532-44-6506

<別紙2>

※新聞：5月23日 朝刊以降 解禁
※インターネット：5月23日 午前6時以降 解禁



国立大学法人豊橋技術科学大学 *Press Release*

平成25年5月15日

下水処理場でトマトづくり！！ 大村秀章愛知県知事を迎えて 「豊川バイオマスパーク」トマト収穫記念式を開催します

<トマト収穫記念式概要>

- 1 目的
先進的な実験を行う「豊川バイオマスパーク」を広く周知する。
- 2 主催 国立大学法人 豊橋技術科学大学
共催 愛知県、公益財団法人愛知水と緑の公社
- 3 日時
平成25年6月10日（月）14時00分から15時00分まで〔雨天実施〕
- 4 場所
愛知県豊川浄化センター敷地内（豊橋市新西浜町1番3）
- 5 式典プログラム
(1) 主催者等あいさつ
(2) トマトカットおよびトマトかぶりつき
(3) 実験施設説明及び施設説明案内

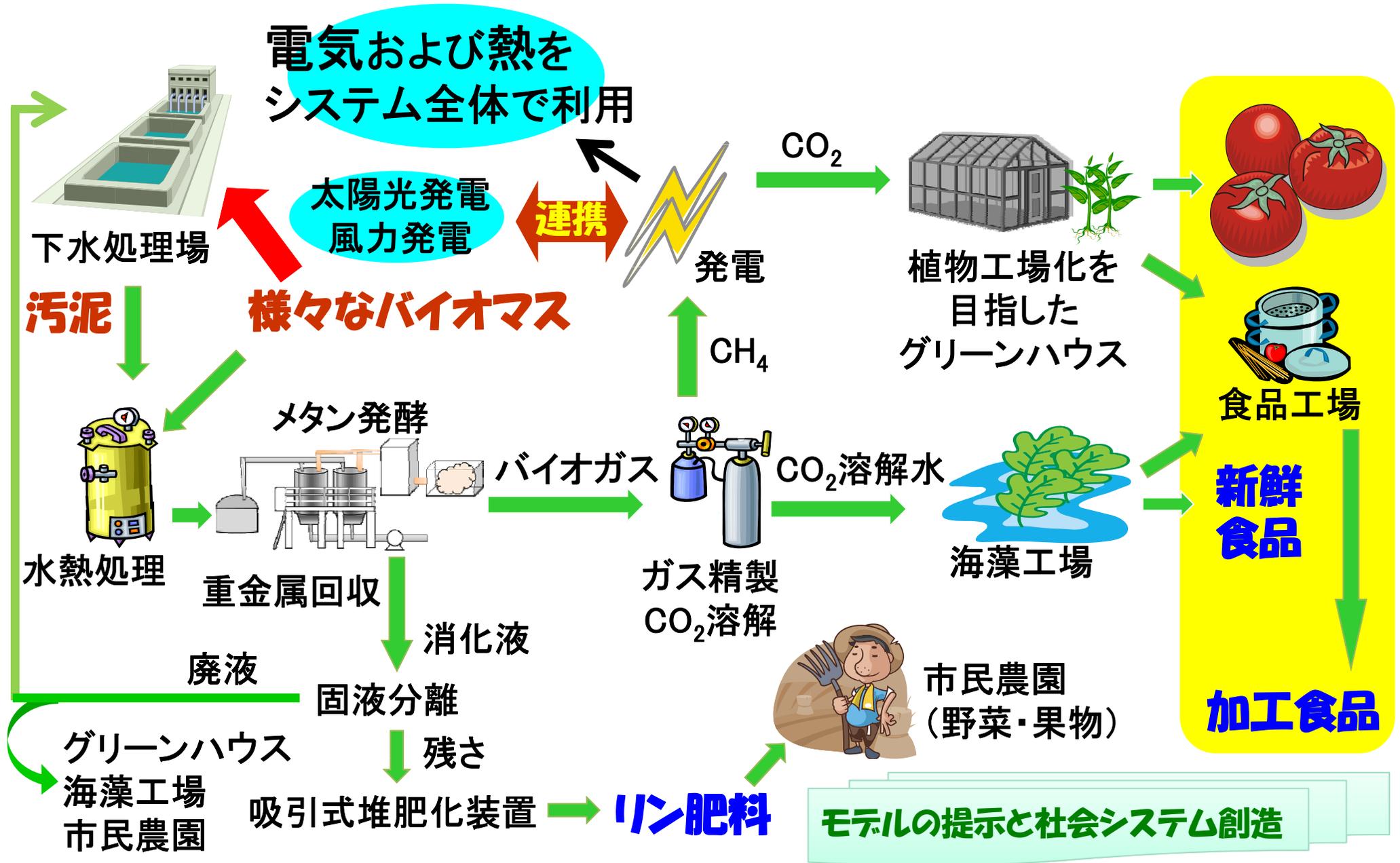
記者会見前後の時間を使い、本事業の研究代表者である本学 環境・生命工学系 大門准教授への個別取材も受け付けますので、ご希望の場合は下記担当までご連絡下さい。

本件に関する連絡先

担当者 総務課長 TEL:0532-44-6501

広報担当：総務課広報係 岡崎・小島 TEL:0532-44-6506

豊川バイオマスパーク構想 @ 下水処理場



* バイオマスとは？ … 動植物から生まれた再生可能な有機性資源のこと(家畜排せつ物、生ゴミ、木くずなど)



国立大学法人豊橋技術科学大学 *Press Release*

平成25年5月15日

JIA東北住宅大賞奨励賞受賞 「白鷹の家」

建築・都市システム学系渋谷助手が設計した住宅が
JIA東北住宅大賞奨励賞を受賞しました。

白鷹の家は、山形県西置賜郡白鷹町に建てられた、南面に木製建具による全面開口を設け、敷地の立地特性である美しい眺望を建物内に取込んだ住宅です。

渋谷助手の研究テーマである、建築の持続可能性や建築のエイジング、伝統技術や新素材の活用に関して、これまでの知見をもとに具現化した住宅であり、機械任せのエコではなく、人々に愛され長く使ってもらおうことを目指しています。人が建築に関わるような仕組みづくり、自然通風・自然採光など、立地場所の気候風土を最大限活用した建築の在り方をローコストなエコハウスのモデルとして提案しています。

これまでに、グッドデザイン賞や日本建築学会東北建築賞作品賞、日本建築学会作品選集2012など、多数の賞を受賞しています。

<表彰概要>

JIA東北住宅大賞は、東北6県に造られた住宅を対象とし、デザイン・性能・工法等において、東北の景観と環境に根ざした優れた住宅を設計した建築家（設計者）と施主・施工者を顕彰するものです。

2012年11月に青森市「ねぶたの家 ワ・ラッセ」において、古谷誠章早稲田大学教授（審査委員長）、五十嵐太郎東北大学教授の2名の審査員により公開にて一次審査が行われ、8つの作品が二次審査に進出し、2013年3月に二次審査として現地審査が実施されました。

<受賞名・作品>

【奨励賞】「白鷹の家」（しらたかのいえ）

所在地：山形県西置賜郡白鷹町

設計者：渋谷 達郎

（アーキテクチュアランドスケープ一級建築士事務所／豊橋技術科学大学）

施工者：丸ト建設（株）

建築・都市システム学系 渋谷助手への個別取材も受け付けますので、ご希望の場合は下記担当までご連絡下さい。

本件に関する連絡先

担当者 総務課長 TEL:0532-44-6501

広報担当：総務課広報係 岡崎・小島 TEL:0532-44-6506

白鷹の家 / SNOW LIGHT HOUSE

設計：渋谷建郎+アーキテクチャランドスケープ一級建築士事務所/豊橋技術科学大学
 構造：鈴木啓/ASA 施工：丸ト建設



雪国の住まいの未来形
 雪国においては、降雪などの影響による日照時間の短さは、冬の寒さと同様切実な課題である。常に閉ざされる冬の窓、自然光をいかに享受するかは人々の健康的な暮らしと直結している。そこで、断熱性の高い高性能断熱材を用いた「採光新熱壁」を考案し、窓外側の全面に採用した。このシステムは、木造在来工法を厚さ40mmの断熱材の間に中空ポリカーボネイト複層板、太陽放射の透過防水紙、空気層などにより構成され機能的な工夫をすることで断熱性を確保している。別荘は冬の寒さを軽減するため、雪降りの不安な時期を考慮して、室内は雪あかりのような雪やらかい自然光に置き、四季のうつろいを感じることができる。地方でも入手可能な親水性の高い材料を組み合わせることで、ローコストながら快適な居住環境を実現している。

風景を収めたランドスケープとしての建築
 牧地周辺は緩やかな南面傾斜地で、水田が種田状に広がっている。建物は高さを抑え、南側に大きく開口を設けている。開口は三層の本表建具は全て開け放つことが可能で、風景を住まいに取込む動線として機能すると共に、内外を一体的に広げる緑地空間を創出する。緑地の広さは、夏季と冬季の太陽高度を考慮して設定している。大きな開口は冬季の晴天時に日照取得の面で有効だが、そうでない場合は熱損失を最小限に抑える必要がある。今回、业主の理解もあって、地域の気候を感知した採光可能な地盤上を構築することで、開口で本表建具による大開口に特化するようになった。建具は断熱性と経済性、施工性を重み、ペアガラスとし、木の反りを軽減するために建具高さを2階に抑えたほか、引合には気密性に優れた金物を採用している。大開口を確保することで視界が外へ出る自然の光や空気が入り、視界の面からも有効となった。さらに、ゴールドワイドを採用して、暖か石の理想で空気を導く断熱ブラインドを採用している。

開口三層の本表建具は全て開け放つことが可能で、風景を住まいに取込む動線として機能すると共に、内外を一体的に広げる緑地空間を提供する（飯量連時の山並みを眺めることができる）



電あかりのようなやわらかい光に包まれた「採光新熱壁」内観（木と通気防水紙の重ね合いを活かした内装仕上）



南面の全面開口と2階の採光新熱壁が特徴的な外観（高さを抑え、接地性を高めることで大地に馴染ませている）



景致的な南面大開口は多気層構造には日射遮蔽の面で有効である



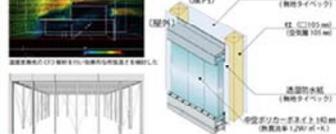
夜は行燈のように浮かび上がる採光新熱壁（2階外見）



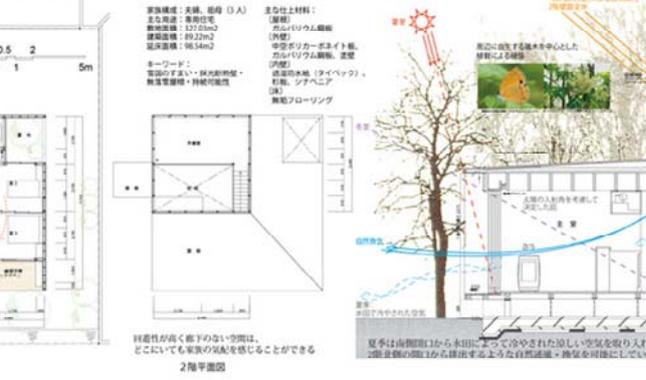
緑地空間（テラス）は地域の人々とのコミュニケーションの場としても活用されている



内装仕上：断熱タイプベック



現場での断熱構造確認可能にして、加断熱システム。汎用性の高い材料を用いた「採光新熱壁」の構成



夏は南風から木田に吹く冷やされたい空気を取り入れ、室内で暖められた空気を放射冷却の温度差換気による空気の流れを利用し、2階室の開口から排出する上る自然換気・換気可能にしている

自然換気・換気可能とするパップ的な新断面計画



国立大学法人豊橋技術科学大学 *Press Release*

平成25年5月15日

豊橋市花園町の空き店舗改修プロジェクト 「花園ベース」

建築・都市システム学系渋谷助手と本学建築サークルによるプロジェクト「花園ベース」が、あいちモリコロ基金の助成を受けて本格化します。

建築・都市システム学系渋谷助手と建築・都市システム学系で学ぶ学生が中心となって組織する建築サークルでは、セルフビルドによる改修計画を進めています。

この度、あいちモリコロ基金の助成を受け、まちなか再生プロジェクトとして取り組んでいる空き店舗の改修が本格化します。

「花園ベース：HANACOYA」と名付けたその場所は、7月のオープンに向け、地域の拠り所となる、誰でもいつでも気軽に利用できる「街の縁側」のような場所を目指しています。

昼間はコミュニティカフェ、夜間はコラーニングスペースとして活用予定です。

<あいちモリコロ基金 平成25年度展開期活動>

○団体名

豊橋技術科学大学建築サークルTYACC（協働先：花園商店街振興組合）

○活動分野

まちづくりの推進を図る活動

○活動テーマ

CoLearning Space Project ～みんなのまちの居場所～

【参考】あいちモリコロ基金

<http://morikorokikin.jp/index.html>

建築・都市システム学系 渋谷助手への個別取材も受け付けますので、ご希望の場合は下記担当までご連絡下さい。

本件に関する連絡先

担当者 総務課長 TEL:0532-44-6501

広報担当：総務課広報係 岡崎・小島 TEL:0532-44-6506



豊橋技術科学大学出版記念 シンポジウム

技術を創る

知の本流からのメッセー

開催日：平成25年7月26日(金) 13:30～18:10
会場：慶應義塾協生館藤原洋記念ホール
(〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1)
主催：国立大学法人豊橋技術科学大学
【参加費】無料 【定員】400名

Program

開会 13:30：主催者挨拶 榊佳之 豊橋技術科学大学 学長

第1部 ビッグ対談とコンサート 13:35～14:45

対談 「科学と技術と芸術と…未来創造の鍵」



藤原 洋氏
(株)ブロードバンドタワー
代表取締役会長



榊 佳之
豊橋技術科学大学
学長



ピアノ演奏
山岸 ルツ子氏
F. ショパン
「英雄」ポロネーズ
変イ長調 op.53 他



独唱
李 宗潤氏
R. ワグナー
タンホイザーより「夕星の歌」
他

第2部 最新の研究ハイライト 15:00～16:00

「豊橋技術科学大学の挑戦」

1. 「異分野融合による革新的未来技術の創造」
 2. 「イオンイメージング技術が拓く異分野連携」
 3. 「質感脳情報学とその応用」
 4. 「第4世代モビリティ：電化道路と電気自動車」
 5. 「夢の薬RNAを創り造る」
- 石田 誠 副学長・教授 エレクトロニクス先端融合研究所 所長
澤田和明 教授
中内茂樹 教授
大平 孝 教授
菊池 洋 副学長・教授

第3部 パネル討論 16:15～18:10

『技術を創る』

◎ モデレーター 榊 佳之 豊橋技術科学大学 学長

◎ 話題提供 1. 藤嶋 昭氏 東京理科大学 学長
2. 吉野 彰氏 旭化成(株) フェロー

◎ パネリスト (著者等)

- 安西祐一郎氏 (独)日本学術振興会 理事長、前慶應義塾長
飯島澄男氏 名城大学大学院 教授
榊 裕之氏 豊田工業大学 学長
中村道治氏 (独)科学技術振興機構 理事長
藤嶋 昭氏 東京理科大学 学長
藤原 洋氏 (株)ブロードバンドタワー 代表取締役会長
吉野 彰氏 旭化成(株) フェロー



発行：日経BPコンサルティング



榊 佳之
豊橋技術科学大学 学長



藤嶋 昭氏
東京理科大学 学長



吉野 彰氏
旭化成(株) フェロー



安西祐一郎氏
(独)日本学術振興会 理事長、
前慶應義塾長



飯島澄男氏
名城大学大学院 教授



榊 裕之氏
豊田工業大学 学長



中村道治氏
(独)科学技術振興機構
理事長



藤原 洋氏
(株)ブロードバンドタワー
代表取締役会長

申し込み

国立大学法人豊橋技術科学大学
総務課(記念シンポジウム担当)

TEL 0532-44-6504 FAX 0532-44-6509
E-mail somsom@office.tut.ac.jp
URL http://www.tut.ac.jp/create_technology_symposium/ (プログラム・申込書掲載)

平成25年度 定例記者会見日程予定

- 第1回 平成25年 4月17日(水) 11:00～
- 第2回 平成25年 5月22日(水) 11:00～
- 第3回 平成25年 6月20日(木) 11:00～
- 第4回 平成25年 7月24日(水) 11:00～
- 第5回 平成25年 8月15日(木) 11:00～
- 第6回 平成25年 9月18日(水) 11:00～
- 第7回 平成25年10月16日(水) 11:00～
- 第8回 平成25年11月20日(水) 11:00～
- 第9回 平成25年12月18日(水) 11:00～
- 第10回 平成26年 1月22日(水) 11:00～
- 第11回 平成26年 2月19日(水) 11:00～
- 第12回 平成26年 3月19日(水) 11:00～

場所はすべて本学大会議室（事務局3階）を予定しています。場所、日程は現時点での予定であり、都合によって変更の場合があります。定例以外に臨時で記者会見を行う場合があります。

以上